

千歯こきが大きく形を変えないまま200年以上活躍した後、明治時代の終わりころ、新たに足踏み式の回転脱穀機(写真右下)が登場。大小の歯車とクランクを活用した脱穀機は、現在もペダルを踏むと非常に勢い良く回ります。円筒部分に稲穂を押し付けることで、表面に張り巡らされ



千歯こき

三河内郷土資料室に收藏している昔の農道具を紹介し、刈り取った稲穂を脱穀する器具として「千歯こき(写真左)」があります。江戸時代の元禄年間(1688~1704年)に考案されたといわれ、乾燥させた稲穂を上部にくし状に並んだ歯の間に入れて引き抜くことで一気に稲が取れます。それまで「こきばし」と呼ばれる竹の棒で行われていた脱穀作業の効率が画期的に向上しました。



足踏み式回転脱穀機

この回転機構にペダルの代わりにモーターをつなぐことで脱穀機は動力化の時代を迎えます。現在はコンバインに組み込まれ、刈り入れと同時に脱穀ができるものもあります。

三河内郷土資料室では、紹介した回転脱穀機を実際に踏んでみたり、さまざまな昔の道具を実際に触れて楽しむことができます。お子さんと一緒にお越しください。

《三河内郷土資料室》

入室料 一般150円

(中学生以下無料)

開館日 土・日曜日

(年末年始を除く)

(与謝野町教育委員会)

ホッと一息

10月1日は「コーヒーの日・お茶の日」です。コロナ禍でうち時間が長くなりストレスも多い毎日、ゆっくりとした時間はいかがでしょうか?

『コーヒーもう一杯』

平安寿子 / 新潮社



恋人に振られ、会社では大失敗。人生のピンチに陥った主人公がひらめいたのはカフェの開業。しかし開業までの道のりにはメニュー作りなど難題が次々に降りかかります。仕事小説としてはもちろん、店舗経営の追体験ができる物語です。

『ルルとララのかわいいデザートレシピ』

あんびるやすこ / ぴあ



小学生に大人気「ルルとララ」シリーズは、作中に出てくる魅力的なお菓子が魅力の一つ。子ども心をひきつけるお菓子レシピをかわいいイラストで紹介している本。うち時間のお茶のおともにお菓子作りにチャレンジしてはいかが?

『お茶の時間 楽しむ工夫×世界のお茶100×基礎知識』

暮らしの図鑑編集部 / 翔泳社



いつも同じお茶を楽しむのもよいですが、気分や場面に合うお茶を飲んでみませんか? 世界のお茶の紹介を読むと、その国の文化も知ることができてちょっとした旅行気分が味わえます。

『ねこじたなのにお茶がすき』

今江祥智・ささめやゆき / 淡交社



ハードルが高いと感じられる茶道を、ねこが楽しんでいる? じいさまが出すお茶を正座で行儀よく、でも猫舌だから冷まして飲むのです。ユーモラスな語り口と柔らかいタッチで描かれた絵本です。

- 『経済は地理から学べ!』小宮路秀作 / ダイヤモンド社 ●『中古マンション・戸建てをリノベーションしてカッコよく暮らす』主婦と生活社 ●『ついスマホに頼ってしまう人のための日本語入門』堀田あけみ / ナカニシヤ出版 ●『みとりねこ』有川ひろ / 講談社 ●『やさしい猫』中島京子 / 中央公論新社 ●『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』佐藤愛子 / 小学館

- 『竜とそばかすの姫』細田守 / KADOKAWA ●『おやつどろぼう』阿部結 / 福音館書店 ●『こどもサビエンス史』ベント=エリック・エングホルム / NHK出版 ●『今泉先生のゆかいな動物日記』今泉忠明 / KADOKAWA ●『東京2020オリンピック・パラリンピック公式競技図鑑』KADOKAWA ●『おまつりのおぼけずかん』齊藤洋 / 講談社 ●『妖怪コンビニで、バイトはじめました。』令丈ヒロ子 / あすなる書房

図書館利用のお願い

- 来館時にはマスク着用、アルコールによる手指の消毒、咳エチケットへのご協力をお願いします。
- 閲覧席は通常より席数が少なくなっていますので、譲り合ってください。長時間滞在されていると職員が判断した場合には声をおかけする場合があります。
- 図書館内は冷房中であっても換気のため窓を開ける場合があります。



最新情報はホームページでチェック

●問い合わせ先 / 与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間 / 午前10時~午後6時 ●休館日 / 毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

薬は正しく使いましょう

10月17日から23日までは「薬と健康の週間」です。薬は病気を治すために使いますが、間違った使い方はかえって体を悪くします。薬について気になることがあれば、かかりつけ薬剤師や薬局に相談しましょう。

薬を飲むときの注意点

- ◎ 服用時間、用法、用量などを正しく守る。
- ◎ 飲んでいる薬について正しく理解する。
- ◎ 医師、薬剤師など専門家に相談して服用する。

薬の保管方法

- ◎ 直射日光、高温、湿気を避ける。
- ◎ 外箱や薬袋、添付文書は使い切るまで捨てない。
- ◎ 使用期限を確認する。

薬局 とのお付き合い

お薬手帳は患者・医療・介護をつなぐ「連絡帳」

「薬局」と聞いて、どのようなイメージをお持ちですか? 薬局は医師の処方せんをもとに、薬を処方してもらう場所です。安心して薬を使用するために、相談しやすく、薬の情報や健康上のアドバイスをくれるかかりつけ薬局を見つけてみましょう。

薬局とは?

病院などの近くにある保険薬局(通称「前薬局」)、個人薬局、ドラッグストアなどで、薬の専門家である薬剤師がいます。

薬剤師とは?

医薬全般について幅広い知識を持つ薬の専門家。処方せんにもとづく薬の調剤や患者さんへの服薬説明を行うほか、薬の販売・相談・在宅療養といった訪問支援も行います。

お薬手帳は1冊に

薬剤師がアドバイスする内容の多くは、お薬手帳の活用です。お薬手帳は患者さんと各医師や薬局との間の「連絡帳」となり、本人の受けている薬の情報を正確に把握・伝達する最良の手帳です。薬の情報を1冊にまとめることで、皆さんの健康を支えることにつながります。

※ 今月掲載予定の「ALTRレーコラム」はお休みします。次回は12月号に掲載予定です。